



NPO法人あさお市民活動サポートセンター

麻生区地域コミュニティ活動支援事業

NPO法人あさお市民活動サポートセンターが麻生区から業務委託を受けて実施

目次	
朗読の会りんどう	2
ハーモニーギフト	2
つくばく	2
むぐんらあ 無窮花会	3
かわさきかえるプロジェクト	3
健康どじょうすくい踊りの会	4
区民講師募集中!	4

地域 コミュニティづくりにつながる活動を支援するため、麻生区の市民活動団体へ助成金が交付されています。平成20年度から実施され、“あさお市民活動レポート”創刊号で紹介した8団体をはじめ、今までに延べ16団体に助成金が交付されました。

平成23年度は5月30日と追加公募の7月15日に公開プレゼンテーションが行われ、審査の結果、「かわさきかえるプロジェクト(2年目)」「麻生カラオケ楽会(2年目)」「朗読の会りんどう(2年目)」「つくばく(初)」「ハーモニーギフト(初)」「無窮花会(初)」の6団体に助成金が交付されることになりました。

助成金の交付は一団体連続3年まで、という規定があるため、今回のプレゼンテーションははじめて参加された団体も多く、【各団体の活動が新しいコミュニティづくりに役に立てれば】との観点から交付されている助成金の活用について、審査委員から活動内容についてのアドバイスも多く出されました。

交付された助成金は、チラシの作成、会

場費用、講師への謝礼金などにあてられ、今まで費用がなくて実現できなかったイベントや講座などが開催されるようです。“あさお市民活動レポート”改め“あさお・ふれんず”では今年度助成金を交付された5団体を紹介しています。今後の活動予定も取り上げていきますので、ぜひ、参加してみたいかたがでしょうか。

現在、麻生市民交流館やまゆりの利用登録団体は540を超えています。さらに多くの団体が、この制度を活用し、自分たちの活動を新しく、幅広く展開して【**地域のなかで人が集い、地域に愛着を持ち、お互いの良い関係が築ける**】活動がうまれてくることを期待しています。

なお、来年4月下旬に報告会と、24年度説明会が実施される予定です。



プレゼンテーション風景

平成23年度地域コミュニティ活動支援事業団体

団体名	事業名
かわさきかえるプロジェクト	体感しよう！ 廃食用油のリサイクル
麻生カラオケ楽会	ふるさと ぶらり旅 ぱーと2
朗読の会りんどう	お母さんへ、お母さんになる女性へ、お母さんを愛するすべての人へ 2
無窮花会	韓国の文化を理解し交流を深めよう
つくばく	0~100歳まで見て！ 聴いて参加する打楽器演奏
ハーモニーギフト	私たちの演奏と踊りで感動を与えます！





平出さんの指導で子どもたちの声もだんだん大きくなっていった

朗読の会りんどう

朗読を通して平和や人権の尊さを伝える

8月19日、「朗読の会りんどう」はプラザたちばなで高津区・親と教職員の会が主催したサマースクールに参加。30名の子ども達と「くりすますのおくりもの」の朗読劇を楽しんだ。子ども達ひとりひとりに役を振り、台詞や読みを指導。「はっきり」「ゆっくり」「おもいきり」というアドバイスをもらった子ども達は、グループごとにその練習の成果を発表。最後にりんどうのメンバー4人で朗読した。

代表の平出さんは元舞台俳優。今はNPO法人映像工房ペリで障がい者のサ

ポートをしている。俳優の経験を活かし地域で役立つことができないかと考え、教師であった父親や役者仲間と平和を題材にした朗読の会をはじめた。今年はず育てサークルや、福島の子どもの川崎サマーキャンプで朗読をした。

年3回程、平和・人権・福祉の大切さを伝えるための朗読会を開いている。来年3月には麻生市民交流館やまゆりで、地域の人に向け「お母さん」をテーマに公演を行う。この公演に出演してくれる人を11月1日まで募集している。

取材・文 丸山とし子

ハーモニーギフト

歌と踊りの慰問団。元気をあなたに届けます

介護施設、病院などで慰問活動をしている女性主体のボランティア団体「ハーモニーギフト」。代表の水澤さんはサクソなどの演奏家で歌も大好き。昔からボランティア活動には強い関心があり、専修大学KSアカデミーで奉仕活動の勉強をし、読み聞かせなどを経験後、友人を誘いこの会を結成。新舞踊を習いはじめたお嬢さんも参加している。プログラムはピアノ、サクソ、オカリナの演奏とヴォーカルで懐メロ、童謡、

J-POPS、ジャズなど。その場に応じ、みんなが歌える親しみのある曲を選ぶ。肩を丸めていたお年寄りも、一緒に歌っていると、みるみる顔が明るくなり、目が輝きます。出し物に彩りを添えるのが新舞踊。バラエティに富んだショーは楽しいと好評だ。これまでは年に5・6回の慰問だが、今後はもう少しメンバーを揃え、月に1度ぐらいが目標とのこと。

取材・文 飯田保幸



水澤さんのサクソ演奏と「祇園小唄」を踊るお嬢さん

つくぱく

新しいコンサートモデルを目指して

リズムを体感し、年齢に関係なく広く親しむことができる打楽器。プロの打楽器演奏グループ「Tuk-Pak」の父母を中心に結成された「つくぱく」は、アーティストと一緒に演奏する体験型コンサートを開催している。最近では親子で参加できる音楽会も増えてきているが、会場で楽しんで終わってしまう。「つくぱく」は演奏会のメイン部分をCDにして、参加者へ無料配布。会場で楽しんだリズム遊びや演奏を家庭でも体験してほしいからだ。祖母母

と孫、両親と子ども、高齢者同士、コミュニケーションの輪を家庭内から広めたいと考えている。ちなみに「Tuk-Pak」とはキューバの打楽器が奏でる音を表している。

10月8日および来年の2月18日、3時（開場2時30分）から麻生市民交流館やまゆりで「つくぱく」の演奏が予定されている。参加費は4人まで500円、追加1人200円。グループでの参加がしやすい設定になっているので、この機会に家族や友人と一緒にビートのきいた一日を過ごしてみたい。

取材・文 橋本敏次

2010年奈良遷都1300年イベントで演奏するTuk-Pak。つくぱくの公演はTuk-Pakをはじめプロのユニットが演奏



無窮花会

近くて遠い国、 韓国をもっと知ろう

麻生市民交流館やまゆりで、2011年5月10日に行われた『韓国の簡単なあいさつを学び、食文化を知る』の受講者が同年6月に、せっかく一緒に韓国語を聞いたのだからと立ちあげた会で、会の名前の「無窮花（ムグンファ）会」は韓国の国花からきている。

区民講師されたクオンソヨンさんから、【ちょっとした会話ができるくらいの語学を学ぶとともに、関心を持つ方々で韓国歴史・文化・習慣なども学ぼう】という集まりだ。「やまゆりニュース」で紹介されてから、現在、定員を超

熱心に韓国語を勉強



える31名のメンバーが集まっている。韓流ブームの影響か、女性が圧倒的に多く、会の運営も女性陣が進めている。自己紹介では、韓国に数度行かれた方、韓流ドラマに熱中している方など多士済々だが、まずは、近場の韓国

料理探索、新大久保コリアンタウン、高麗博物館、川崎市ふれあい館などを見学、お互いのもっている情報を交換して、ひろく皆さんに情報発信ができればと、代表の白石さち子さんは夢を語った。

取材・文 植木昌昭

かわさきかえるプロジェクト

てんぷら油を捨てずに再利用



廃油回収コーナー（区役所4階エレベーター前）
廃油回収実績、BDF処理方法などを掲示

ご存知か？ てんぷら油など食用廃油で、車を走らせることができるのだ。バイオ・ディーゼル・フュエル（通称BDF）は、廃油を処理、精製した燃料。軽油並みの燃費でディーゼル車が走行できる。CO₂の削減や河川の浄化にも役立つため、高津、宮前、多摩に続き、1年前から麻生区でも廃油を回収している。区役所や支援者の自宅など25ヶ所が拠点となっている。ペットボトルで持参し、備え付けのポリタンクに移す。賞味期限切れの油も受け付ける。

BDFの利用はオランダと京都が進

んでいる。川崎は後発だが、東日本大震災のときは3000リットルの廃油を市民が贈り、被災地への支援物資の輸送に役立てられた。生協の配達でもBDFを使用する計画だが、最大の課題は回収量を増やすことである。収集は会が行なうので、ポリタンク設置場所として自宅を提供いただける方を求めている。また会員も募集中。11月3日のあさお市で資料が展示されるほか、11日10時～12時に市民館でキャンドルづくりやせっけんの学習会も開催される。

興味のある方は、ぜひご連絡を。

取材・文 中島久幸

朗読の会りんどう

代表：平出 圭
連絡先：090-1256-6423
（小山羊子）
設立：2008年8月
会員：8名
（女性5名、男性3名）
会費：500円/月
活動日：月2回木曜日
18～20時 公演前は土日にも稽古する
場所：麻生市民交流館
やまゆり・麻生市民館など
<http://web-asao.jp/hp/rindou>

ハーモニーギフト

代表：水澤春海
連絡先：044-986-5862
設立：2009年2月
会員：12名
会費：なし
活動日：不定期
場所：慰問先は介護施設、病院、保育園など

つくばく

代表：熊本正比古
連絡先：044-955-6326
設立：2011年3月
会員：6名
（女性4名、男性2名）
会費：なし
活動日：不定期
場所：麻生区古沢の代表者宅

むぐんふあかい 無窮花会

代表：白石さち子
連絡先：044-988-6448
設立：2011年6月
会員：31名
（女性22名、男性9名）
会費：1500円/月
活動日：第2・第4火曜
午後（原則）
場所：麻生市民交流館
やまゆり

かわさきかえるプロジェクト（麻生区）

代表：山口和子
連絡先：044-299-6460
（林恵美）
設立：2010年8月
会員：12名
会費：1000円/年
活動日：区役所での回収は毎月第1木曜 9～15時
ほか24カ所は随時
<http://kaeru.kazekusa.jp/>



踊って笑ってどじょうすくい

「〴〵おやじどこへ行く 腰に籠下げ
て 前の小川へどじょう取りに」島
根県の安来節どじょうすくい唄。そ
の軽快なリズムによって、野良着姿
に手ぬぐいをかぶり、1文銭を鼻当
てにした男が、前に腕を組み、ひょ
こひょこ腰をふり登場する。あた
りに目を凝らしてどじょうを探し、
ザルと足を使ってすくい上げ、思わ
ずにっこり。どじょうとヒル（蛭）
に悪戦苦闘しながら踊る仕草がユー
モラスで笑いを誘う。



どじょうをすくう所作を指導する
三浦さん（写真右）

この踊りは足腰を使うので健康づく
りにもなると、今年6月に麻生市民交
流館やまゆりで公開講座を開いた。
受講者にも大変好評で、7月には区民
講師をされた三浦清市さんを中心に
「健康どじょうすくい踊りの会」が
発足した。テーブルから流れる伴奏に
よって、歩く基本からはじまり、所
作をシナリオ順に区切って練習す
る。低い姿勢で踊るので、太もも、
ふくらはぎ、おしり、背中筋力強
化になる。軽快なリズムに合わせる
ので、俊敏な動きができるようにな
る。「リズムにおくれているよー」
気どらない仲間の声も飛んで、ど
っと笑う。日常のストレスが吹っ飛
ぶ。まさに、心と体の健康踊りだ。
秋に麻生市民交流館やまゆりで開催
される健康見本市で練習成果を披露
する。会員募集中。

取材・文 石崎純也

団体名：健康どじょうすくい踊りの会

代表：森 一郎（指導 三浦清市師範）

連絡先：森 TEL. FAX 044-955-8778

設立：2011年7月

会員：8名（男性6名、女性2名）定員20名程度（会員募集中）

会費：1,000円/月 活動日：第2・4月曜日（17時30分～19時）

活動場所：麻生市民交流館やまゆり

区民講師募集中！

あなたの知恵を地域で活かしてみませんか？

どなたでも、好きなこと、得意なこと、伝えたいこと
があるものです。地域貢献というと、かた苦しい感じがし
ますが、あなたのちょっとした知恵や特技・経験を地域
に披露してみませんか？

区民講師といっても資格も免許も不要です。人より
チョットだけ詳しい話題や技を多くの人知ってもらい、
それを話題に地域の老若男女の人々と交流の輪が広がる
と嬉しいです！ ちょっとした日常で使える物事も、地
域の資産だと考えます。

NPO 法人あさお市民活動サポートセンターでは、そん
なさまざまな地域貢献を一緒に行っていただける、区民
講師を募集しています。

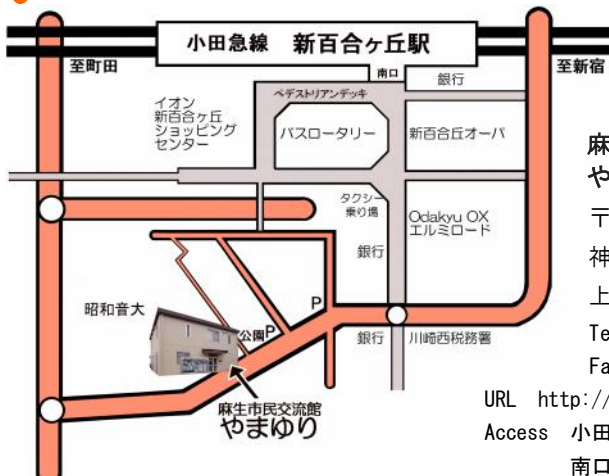
■区民講師募集の説明会

●日時：平成23年10月22日（土）10時30分～

●場所：麻生市民交流館やまゆり

☆応募される方は詳細を説明しますので、あさお市民活動サ
ポートセンターまでお気軽にお問い合わせください。

（☎044-951-6321）



麻生市民交流館
やまゆり

〒215-0021

神奈川県川崎市麻生区

上麻生1-11-5

Tel. 044-951-6321

Fax. 044-951-6467

URL <http://web-asao.jp/yamayuri/>

Access 小田急線「新百合ヶ丘駅」

南口から徒歩4分

あさお区民記者

「あさお市民活動レポート」が「あさお・ふれんず」に
改名。今号からデザインを一新しました。より解りや
すい記事を、より親しみやすい内容を目指します。

これからも麻生区を拠点に頑張っている市民活動
団体をどんどん紹介していきます。お楽しみに。

★ホームページに各号記事のほか、区民記者の取材後記
も掲載しています。 <http://www.asao-ku.net>

発行元：NPO法人あさお市民活動サポートセンター

発行人：植木 昌昭

編集人：佐々木直子